

国

語

(A2日程)

(解答はすべて解答用紙に記入しなさい)

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部省略した部分があります。)

ゾウの鼻は進化の産物です。長い進化の中で鼻が何か目的を持って自らを変化させたわけではないかもしれません。何かの副産物あきりかもしれません。しかし、ゾウは鼻を長くすることでどんな得をしているのかを考えてみることは、ゾウが生きる世界を、ゾウの視点から理解するためにも大切なことです。

まず、ゾウの体を分析してみましょう。長い鼻があつて、その根元には大きな頭があります。頭の重さは五〇〇キログラムほど。その頭を支えるには、太い首は不可欠です。首は長すぎても肩などへの負担が大きくなってしまいます。短くて太い首がびったりです。そしてその首がしっかりと胴体と頭部をくっつけています。

ゾウの頭はなぜこんなにも大きいのでしょうか？ゾウの頭は頑丈な頭骨とむきむきの筋肉からなります。ゾウはとても賢い動物で豊かな感情を持っています。そういった知能や心の世界を支えるのは、もちろん脳です。五〇〇〇グラムにも及ぶ大きな脳を守る頑丈な頭骨と、ゾウの象徴である太くて長い鼻を維持するための筋肉がついてゾウの頭はあんなにも大きくなったのです。

大きな脳と長い鼻の間にも関係があると、私は考えています。大きな脳、つまり大きな頭を支えるために、首が十分に太くなければなりません。首を太く頑丈にすると、困ったことに、頭部の動きが制限されてしまったのです。その不自由さを、長く機動性に優れた鼻が十分に補ってくれたのではないのでしょうか。鼻がよく動くことで、首が固定されていても生活に困りません。大きな頭を保ったまま、鼻で動きの自由も得たのです。さらに自由の利く鼻で、道具をつくって使用したり、自由に物を動かしたりすることで脳は刺激され、ますます発達していったとも考えられます。そうやってゾウの体は各部位が互いの欠点を補い合いつつ、長点を生かし、ゾウを成り立たせているのでしょうか。

ヒトの赤ちゃんは、どこの国でも同じように指しゃぶりをします。どうしてでしょうか。気分を落ち着かせるためというのが一般的な考えです。また、体の先端である指の感覚を鍛えるとともに、もつとも敏感である舌でその存在を確認している可能性もあります。もちろん赤ちゃんとしては、そんな難しいことは考えずに、ただ「お母さんのおっぱいを吸っているみたいで安心する」から指をしゃぶるのでしょう。じつは、ゾウも指しゃぶりならぬ、「鼻しゃぶり」をしているのを目撃しました！むにゃむ

にや眠りながら、人間の赤ちゃんと同じように、おっぱいを吸っているような動きでちゅちゅと自分の鼻先をしゃぶります。ゾウにとつての鼻は、私たち人間にとつての手(指)と同じものと言えるのではないのでしょうか？ゾウの鼻とヒトの手の類似点を挙げていくと、そう確信します。

25

犬の散歩をしていて、タンポポの綿毛が飛んできました。顔に近づいてきてくすぐったいので「手」で払います。犬は？「前足」で不器用そうに払います。Aゾウはどうでしょう？「鼻」で、しかもかなり正確に(無駄な動きもなく)払いのけてみせます。ゾウは鼻で、さまざまな動作を生み出します。手で餌をつかみ、口まで運んで食べるのは、霊長類と齧歯類(リスやモモンガ、ハムスターなど)、それにコアラやキンカジュウなどが挙げられます。ゾウは、手を使わなくても、鼻でそれをやってしまうのです。そうすることで手(前足)はいつでも重たい体重を支えることに、専念できるのです。

30

ほかにも、ゾウの鼻とヒトの手はその成長過程も似ています。生まれたてのゾウの鼻は、ふにゃふにゃしていて、触るとまるでマシユマロのように柔らかいです。というのも、鼻はすべて筋肉でできているので、赤ちゃんのころはまだ十分に発達していないのです。赤ちゃんゾウの鼻は、ふるふると所在なげにくっついていてだけという印象で、まだ上手には使いこなせません。お母さんのように鼻で何かをつまむこともできません。人間の赤ちゃんの手といっしょです。ヒトの子どもも、初めておもちゃをつかんだ日には、両親そろって大よろこびするほど、最初は何もできません。手を器用に使えるようになるまで、幼稚園の年長さんくらいまでかかります。同じように、ゾウの子供も五歳ほどで、ようやく上手に青草を食べやすいように丸めたり、木の枝を折ったりといった細かい作業ができるようになるのです。

35

Bヒトの手に「右利き」「左利き」があるように、ゾウの鼻にも「右利き」「左利き」があります。ゾウの鼻は一本しかありませんが、物を巻き取るときに鼻を巻く方向が、個体によって左右決まっているのです。木の枝を折るときに鼻を巻きつけますが、右巻きにする個体はいつでも右巻き、左巻きにする個体はいつでも左巻きにするのです。自分の体に触れるときや水を吹きかけるときにも「利き鼻」の向きは見られますが、食べる動作に関してはほぼ一〇〇パーセント「利き鼻」が決まっています。各個体の利き鼻は二歳ごろまでに決まります。「利き鼻」があることによつて、食べ物を効率的に獲得し、食べる動作も速くなると考えられます。私たちが右手だけで字を書く練習をしたほうが、両手で書けるように練習するよりも早く字を書けるようになるの

40

と同じです。消化効率の悪いゾウはたくさん食べ物を食べなければなりません。少しでも速く、少しでも多く食べなければならぬのです。したがって「利き鼻」を発達させることは、ゾウにとつてとても重要なことなのです。

45

ところで、サンスクリット語では、ゾウのことをHantsと言うそうで、その意味は、「手を持つ」だそうです！ここでいう手とは、きつと6のことにはちがいないと思います。

(出典 入江尚子「ゾウが教えてくれたこと ゾウオロジのすすめ」化学同人による)

問一 線 a 「副産物」は「副+産物」という組み立てになっています。これと同じ組み立ての三字熟語を次の中から選び、

記号で答えなさい。

ア 共通語 イ 基本的 ウ 近代化 エ 再出発 オ 陸海空

問二 A・Bに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア AⅡしたがって BⅡたとえは

イ AⅡあるいは BⅡつまり

ウ AⅡところで BⅡなぜなら

エ AⅡただし BⅡけれども

オ AⅡでは BⅡさらに

問三 線1「ゾウの体を分析してみましょう」とありますが、ゾウの体の説明として適当でないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 短くて太い首が、大きな頭を支えている。

イ 優れた知能と豊かな感情を生み出す大きな脳を持つ。

ウ 長い鼻があって、その根元に大きな頭がある。

エ 頭は、脳を守る柔らかい筋肉と頑丈な頭骨からなる。

オ 頭の重さは五〇〇キログラムほどある。

問四 ――線2「大きな脳と長い鼻の間にも関係がある」とありますが、脳や頭と鼻の関係について説明したものと最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 大きな頭を支える首が大きくなったことで、熱がこもりやすくなった体を、長い鼻を動かして冷ましている。
イ 大きな脳が生み出す豊かな感情を表現するために、自由に動かすことのできる長い鼻を活用している。
ウ 大きな頭を支える首が太く頑丈になったことで制限された頭部の動きを、長くてよく動く鼻が補っている。
エ 大きな脳による優れた知能で、自分の鼻をより長く丈夫なものへと進化させ、さまざまな動作を行っている。
オ 大きな脳を守る頭部が重くなったことで、前のめりになる体のバランスを、鼻を動かすことで保っている。

問五 ――線3「それ」とは何ですか。「〜こと。」に続くように、本文中から十五字で抜き出しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問六 ――線4「人間の赤ちゃんの手といっしょです」とありますが、どのような点が共通していますか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ゾウが眠気を覚ますために、赤ちゃんがおっぱいを吸うような動きで、自分の鼻先をしゃぶる点。
イ ゾウが生まれた頃はうまく鼻を使えず、器用に鼻を使いこなせるようになるまでに五年ぐらしかかる点。
ウ ゾウが鼻で物をつかめるようになるまで数年かかり、初めてつかめた時はお母さんに喜んでもらえる点。
エ ゾウの鼻はすべて筋肉でできているので、弱々しくつついているように見えてもしっかりとしている点。
オ ゾウは「鼻しゃぶり」を繰り返すことで、舌で鼻の存在を確認し、未発達な鼻の感覚を鍛えている点。

問七 ――線5「『利き鼻』を発達させることは、ゾウにとっても重要なことなのです」とありますが、このようにいえるのはなぜですか。五十字以内で説明しなさい。

問八 6に入る漢字一字を答えなさい。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「と、友だちいないなんて、ことは、な……。」
「ない、と言いきれないのが、情けなかった。」

引越後、「図書館部」の仲間によくショートメールをくれていた。わたしも最初はすぐに返信していた。でも新しい環境につかれてたし、そういうマイナスな気持ちを伝えるのも、ウザがられそうで気がひける。返事をしそこねていたら、体調が悪くなって……。そしてだからからも連絡が来なくなった。

自分からメールを送らなかつたのがよくないのはわかっている。でも、引越して一か月もたたないうちに、こんなにあっさり、やりとりが切れるとは思っていなかった。

「なんでそう思うの……?」

「だって、空花、好きな本の話をするときは楽しそうだけど、それ以外は、ぼーっとしてる。自分のことばかり考えてる感じで、人になんか言われたら、びくって過剰反応するし、すぐにわかりやすく落ちこんでさ。」

「そんな。」

言われた言葉が全部、とすとすと矢になって全身に刺さった。

(わたし、そんなふうに見えるんだ……。)

「そういう子、みんな気をつかうし。友だちになりにくいよね。」

ずどん！ と極太の矢が、 A に突き刺さった。

(みんなに、そう思われてたの？ 今まで？ ずっと?)

わたしはショックで息が止まりそうだったけれど、アオはおかまひなしに続けた。

「あなさ、空花って『理想の自分』がすすぎるんじゃない？ だからお話の中の人物をマジで目指したり、自分と比べてムダにへこんだりするんだよ。」

B 自分が、今までだれも気がつかないようなことを発見したような、得意げな顔でだ。
(……なに、この子。)

C 怒りがわいてきた。

わたしは、たしかに人に気をつかわせる、難しい感じの子なのかもしれない。だからって、そのことを笑顔でバカにしているはずはない。

「だからさあ、もう、そんなつまらないことばっかり考えてないでさ……。」

「つまらないこと……だなんて。」

ぶつと、頭の奥で、太めの線が切れた。

「つまらないことだなんて、言わないでよ！ わたしだって、毎日せいっぱいなんだよ！」

さけんでいるうちに、怒りが風にあおられた炎のように、ぶわっと大きくなった。

「大好きだった場所にもどれないし、仲よしもいなくなって、病気になっちゃって、もう、最低だって思うけど、なんとか自分で立て直そうって、これでも毎日必死なんだよ！ ぼーっと 2 考えてる？ そうかもね！ だからなに？ アオにはわたしの気持ちなんか、わかんないよ！」

わたしは、アオの顔をにらみつけた。

「アオみたいに、思ったこと自信满满になんでも言えるような子には、わかんない！ セーラやビッピのことだって……他人の大事なものを平気でデイスったりするような、そんな無神経な子には、わからないよ！ えらそうなこと、言わないでえーっ！」

はあ、はあ、と息が切れた。のどが割れるかと思った。

こんな声、出したことがないし、こんなにだれかに腹を立てたこともない。頭やおや指先がかつかと熱くて、さざ波のようなふるえが止まらなかった。

アオはなにも言わず、 D わたしの顔を見ていた。

その、めずらしい生き物の観察をしているような目つきがまた、ムカつく。

「見てないで、なんか言ったら？ 言いたいこと、ゼーンぶ言ったらいいじゃん。」

「言いたいこと言ったら、キレたじゃん。」

「キレてない！ そっちが好き放題言うから、わたしも言いたいことそのまま言っただけでしょ！ げほっ。」
もつと言い返したいけど、のどが痛いし、息がうまくできない。

（わたしって、怒ってどなるのも、うまくできないんだ……くうっ！）

またまたへこみそうになったそのとき。

「なんだ、元氣じゃん。」

アオが、妙なことを言った。

「え？」

「暗い顔だったし、よく落ちこむみたいだし、よっぽど体が悪いのかと思ったけど、そうでもないね。よかったよ。退院も近いんじゃない？」

そう言っつて、にこつと笑った。イヤミで言っつてるのでは、なさそうだった。

（本気で、よかったって、思っつてくれる……？）

「……………」

もう、どう答えていいかわからなかった。

この子は、なんなんだろう。

本好きの仲間かと思ったら、口の悪い無神経なデイスり屋で、今度はふつうに親身な態度。謎すぎる。

（出典 令丈ヒロ子『病院図書館の青と空』講談社による）

注1 セーラ…物語『小公女』の主人公で、正義感が強い。

注2 ビッピ…物語『長くつ下のビッピ』の主人公。

注3 デイスったり…「デイスる」は、俗に相手を否定することや批判することなどを意味する表現。

問一

 Aに入る体の部位として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 胸 イ 首 ウ 腕 エ 足 オ 目

問二

 Bに入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア まったく イ むしろ ウ 決して エ たぶん オ まるで

問三

〔 〕 C・Dに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア CⅡするするつと DⅡさーつと
- イ CⅡばくばくつと DⅡはやつと
- ウ CⅡふつふつと DⅡじーつと
- エ CⅡこんこんつと DⅡにやつと
- オ CⅡとんとんつと DⅡそーつと

問四

〰〰線 a「気がひける」の本文中の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア ほんの少し関心がある
- イ 心からのんびりしている
- ウ 理解ができず腹が立つ
- エ 自信がなくてひるむ
- オ 気がきかず遠慮できない

問五

―線 1「ない、と言いきれない」のはなぜですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 「図書館部」の仲間からの連絡が、あっさりとなくなったことに思い当たったから。
- イ 引越しをする前の仲間から、「無神経だ」と言われた記憶がよみがえったから。
- ウ 物語の登場人物だけは友だちだと思っていたが、それを口に出すのは嫌だったから。
- エ 友だちはいるけれど、アオが強い言い方するので言い返すのが怖くなったから。
- オ アオのことを友だちだと思っていたけれど、それは自分の勘違いだとわかったから。

問六

〔 〕 2にあてはまる内容を本文中から九字で抜き出しなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問七

―線 3「わたしは、アオの顔をにらみつけた」とありますが、このときの「わたし」の気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 言い合いでは勝てないアオに泣き顔だけは見せないでいようと意地を張っている。
- イ 大変な毎日を送っている自分の気持ちは無神経なアオにはわからないと怒っている。
- ウ 病気になるって苦労している人に優しく接することができないアオを軽蔑している。
- エ 友だちだと思っていたアオが急に態度を変えて悪口を言ったことに反発している。
- オ 自分の悪口を言うアオに対してこれ以上自分に関わってはほしくないと警戒している。

問八

―線 4「もう、どう答えていいかわからなかった」のはなぜですか。その理由を五十字以内で説明しなさい。

三 次の各問いに答えなさい。

問一 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 応援で大会を^{おうえん}もり上げる。
- ② ^{せい}い^いを示す。
- ③ センモンのな知識を身につける。
- ④ 子どもが^て手を^はふる。
- ⑤ 評価の^{きじゆん}キジユンを定める。

問二 次の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 税金を^の納める。
- ② 版画^{はん}を作る。
- ③ 平和の^{うや}尊さを^{うや}知る。
- ④ 親孝^{おやうや}行^{ぎやう}をする。
- ⑤ 沿道^{えん}から^{せう}声援^{ごうえん}を送る。

	問二		問一		問八		問七		問六		問五		問三		問一		問八		問七		問六		問五		問三		問一		
	④ ①		④ ①																										
	⑤ ②		⑤ ②																										
		③		③																									

↓ここにシールを貼ってください↓



2312100